

# 第66回 南海コンサート

2019年11月9日土



15:00開演 (14:00開場)

会場:岸和田市立浪切ホール 大ホール

アクセス:南海本線・岸和田駅下車 徒歩約10分

指揮:円光寺雅彦

ピアノ:及川浩治

管弦楽:大阪フィルハーモニー交響楽団

グリンカ／歌劇「ルスランとリュドミラ」序曲

ラフマニノフ／ピアノ協奏曲 第2番 ハ短調 作品18

チャイコフスキー／交響曲 第4番 ヘ短調 作品36



指揮／円光寺雅彦 ©K. Miura



ピアノ／及川浩治  
©Ayumu Gomi

料金 税込 全席指定 / 一般：3,000 円 (友の会 2,700 円)  
ペア券：5,000 円 (割引なし)

主催：岸和田市立浪切ホール指定管理者  
公益社団法人大阪フィルハーモニー協会  
協賛：南海電気鉄道株式会社  
後援：朝日新聞社

- お問合せ  
[浪切ホールチケットカウンター] 072-439-4915  
(10:00~20:00 毎月第3月曜日とその翌日は休業)  
[大阪フィル・チケットセンター] 06-6656-4890  
(平日 10:00~18:00 / 土 10:00~13:00 / 日・祝は休業)
- チケットのお買い求め  
浪切ホールチケットカウンター TEL: 072-439-4915 <https://namikiri.jp>  
大阪フィル・チケットセンター TEL: 06-6656-4890 <https://www.osaka-phil.com/>  
チケットぴあ TEL: 0570-02-9999 【Pコード: 160-923】 <https://t.pia.jp/>  
ローソンチケット TEL: 0570-000-407 【Lコード: 56912】  
CN ブレイガイド TEL: 0570-08-9999  
e+ (イープラス) <https://eplus.jp>

※曲目・出演者に変更のある場合がありますので、あらかじめご了承ください。  
※6歳未満のお子様の同伴・入場はご遠慮ください。



# ご紹介

## グリンカ／歌劇「ルスランとリュドミラ」序曲

ロシアの作曲家グリンカ(1804 - 1857)の作品の中で一番広く親しまれているのが、この歌劇「ルスランとリュドミラ」序曲です。劇中に登場する音楽を断片的につなぎ合わせて作られており、明るく華やかに疾走する旋律が印象的な作品です。

## ラフマニノフ／ピアノ協奏曲 第2番 ハ短調 作品18

ラフマニノフ(1873 - 1943)が作曲したピアノ協奏曲(全4曲)のうち、最も演奏機会の多い作品がこの第2番です。数あるピアノ協奏曲の中でも屈指の名曲といわれ、この作品によってラフマニノフの名は一躍世界的に知られるようになりました。技巧的で美しいメロディーが印象的な作品で、近年ではフィギュアスケートの演目としても人気を集めています。

## チャイコフスキー／交響曲 第4番 ヘ短調 作品36

ロシアを代表する作曲家チャイコフスキー(1840 - 1893)は生涯に6曲の交響曲を作曲しました。特に第4番から第6番までは後期3大交響曲と呼ばれることもあり、現在でも数多く演奏されている人気の作品です。この第4番は、チャイコフスキーの交響曲の中で最も情熱的ともいえる作品で、扉に「わが最も良き友に」と記されており、当時チャイコフスキーに多額の金銭援助を行い、文通だけで交際を続けたメック夫人という未亡人のために書かれた作品と推測されています。

第1楽章冒頭から力強く奏でられるファンファーレ風の旋律、第2楽章の哀愁を帯びた主題、弦楽器から木管楽器、金管楽器とセクションごとに奏でられる第3楽章を経て、第4楽章はクライマックスにふさわしい最高潮の盛り上がりで幕を閉じます。



Conductor

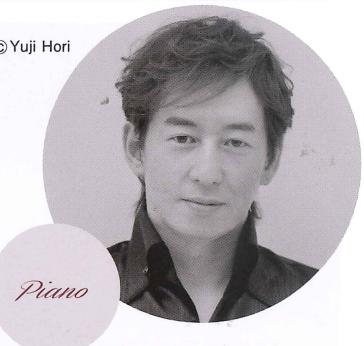
円光寺 雅彦  
Masahiko ENKOJI

## Profile

桐朋学園大学指揮科卒業。指揮を斎藤秀雄氏、ピアノを井口愛子氏に師事。1980年ウィーン国立音楽大学に留学しオトマール・スヴィトナー氏に師事。これまでに東京フィル指揮者(1986-1991)、仙台フィル常任指揮者(1989-1999)、札幌交響楽団正指揮者(1998-2001)などを務め、2011年から2019年3月まで名古屋フィル正指揮者として数多くの名演を共にした。NHK交響楽団、読売日本交響楽団、東京フィル、新日本フィル、大阪フィルをはじめとするほとんどの国内オーケストラ、海外ではプラハ交響楽団、BBCウェーブルズ交響楽団、ベルゲン・フィル、フランス・ブルターニュ管弦楽団に客演し、深い音楽性と適確な指揮で多くの聴衆を魅了してきた。テレビ等の番組にも定期的に出演など、幅広い活躍を続けている。

1984年ヴィオッティ・ヴァルセイジア国際音楽コンクールで第1位受賞。1990年ショパン国際ピアノ・コンクール最優秀演奏賞(Honourable mention)、マルサラ国際音楽コンクール第1位受賞。ショパン没後150周年の1999年「ショパンの旅」と題したコンサート・ツアーを行ない全国で3万5千人を動員。2008年～2011年には「10大協奏曲シリーズ」に取り組むなど人気・実力共に日本を代表するピアニストであり、ダイナミックな中に繊細さをも併せ持ち、内面にダイレクトに訴えかける及川の演奏は、幅広い層の共感を得ている。近年は海外オーケストラとの共演も多数。現在、宮城学院女子大学音楽科特任教授。CDはショパン、ベートーヴェン、リスト、ラフマニノフなどの作品集をリリースし、いずれも高い評価を受けており、「ベートーヴェン：悲愴、熱情、ワルトシュタイン」と「ショパン：バラード」は「レコード芸術」誌特選盤に選出された。オフィシャルサイト <http://koji-oikawa.com>

© Yuji Hori



及川 浩治  
Koji OIKAWA

1947年朝比奈隆を中心に「関西交響楽団」という名称で創立、1960年改称。創立から2001年までの55年間朝比奈隆が音楽総監督・常任指揮者を務め、大阪フィルは個性と魅力溢れるオーケストラとして親しまれてきた。大植英次音楽監督時代には、「星空コンサート」「大阪クラシック」といった大型プロジェクトで注目を集め、2014～2016シーズンは井上道義を首席指揮者に迎え、「ショスタコーヴィチ/交響曲第4番」「交響曲第7番」「交響曲第11番」の録音が相次いでリリースされる等、高い評価を得た。フェスティバルホール(大阪・中之島)を中心に文化庁芸術祭・優秀賞受賞。2017・2018年度祭賞を二年連続で受賞。2018年11月新たにをフォンテックよりリリース。

<http://www.osaka-phil.com>

大阪フィルハーモニー交響楽団  
Osaka Philharmonic ORCHESTRA



Orchestra

©飯島 隆